

第二節 委 託

一 委託再製

移輸入天日製鹽ハ色相不良結晶粗大ニシテ日常一般ノ嗜好ニ適セス内地鹽ニ代用セムトスルニハ之ヲ再製シ白鹽ト爲スノ要アリ即チ之ヲ内地鹽田製鹽者ニ委託シ鹽田採取ノ鹹水ヲ利用シ之ニ混和シ再製スルコトト爲シタリ元來内地鹽田製鹽ニ在リテハ季節ニヨリ採取鹹水ニ濃淡アリ稀薄ナル鹹水ハ煎熬費ヲ要スル多ク製鹽ニ利アラサルニヨリ其ノ濃度カ採算點ニ達セサル場合ハ採鹹ヲ休止スル實狀ニ在ルヲ以テ其ノ稀薄鹹水ヲ利用シ之ニ天日製鹽ヲ溶解シ鹽田製鹽ト再製々鹽トヲ兼行スルコトト爲スハ頗ル利便ニシテ内地鹽田トシテハ稀薄鹹水ノ利用トナリ生産高ノ増加トナリ白鹽増加ノ方法トシテハ兩々相俟テ適切ナル施設ナルヘシト認メ再製方法ヲ鹹水混和再製ニ決シタル所以ニシテ差向主産地タル神戸、岡山、廣島、三田尻、徳島、坂出ノ六支局管内ニ實行スルコトト爲シタリ而シテ其ノ製成ハ歩合ヲ定メテ鹹水製鹽高ト再製出來高トニ區別シ其ノ再製出來高ニ對シ再製費ヲ仕拂フコトトシ取扱手續ヲ定メ大正七年十月ヨリ施行シタリ

甲第四〇二七號長官達(大正七年十月十九日)

移、輸入鹽鹹水混和再製委託ニ關スル取扱手續

第一條 移、輸入鹽ノ鹹水混和再製ハ神戸、岡山、廣島、三田尻、徳島及坂出ノ各支局管内製鹽業者ニ委託シテ之ヲ行フヘシ

第二條 前條ノ各支局ハ鹽回送規程第五號書式ニ依リ提出スヘキ鹽回送高表中別ニ毎月製造セシメ得ヘキ再製鹽見込高ヲ掲記シテ本局ニ報告スヘシ

第三條 移、輸入鹽ノ鹹水混和再製ハ取締上不便ナキ製鹽場ニシテ且資産、信用確實ナル製鹽業者ニ就キ別紙契約書(第一號書式)ニ依リ委託スヘシ

前項再製委託製鹽業者選定ニ際シテハ鹽生産費調査選定鹽田並次年度ニ於テ鹽生産費調査鹽田トシテ選定スヘキ見込ノ鹽田ニ

於ケル製鹽業者ヲ除外スヘシ

第四條 移、輸入原鹽ニ對スル鹹水混和再製鹽ノ納付歩合、委託製鹽業者ニ仕拂フヘキ再製費並再製鹽受入價格ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 鹹水混和再製ヲ委託シタルトキハ左票ニ依リ委託原鹽及再製鹽ノ整理ヲ爲スヘシ

鹹水混和再製鹽整理票 (第二號書式)

鹹水混和再製鹽納付票 (第三號書式)

第六條 鹹水混和再製ヲナス專賣支局ハ左記報告書ヲ提出スヘシ

移、輸入鹽再製委託可能高報告(一月末日限) (第四號書式)

移、輸入鹽再製委託契約高報告(翌月十日限) (第五號書式)

原鹽受拂及再製鹽納付高報告(翌月十日限) (第六號書式)

第七條 再製鹽受入ニ付テハ鹽收納賣渡事務取扱手續ヲ準用ス

第八條 本手續中專賣支局トアルハ出張所ニ、專賣支局長トアルハ出張所長ニ之ヲ準用ス

第一號書式

契約書

一 移、輸入鹽再製 何萬斤

〔此契約保證金 何圓〕

〔但シ大正何年何月何日何金庫保管證書何通〕

右移、輸入鹽再製ニ關シ何支局長ト何某ト左ノ條項ヲ契約ス

第一條 請負人ハ政府ヨリ原鹽ノ引渡ヲ受ケ自己採取ニ係ル鹹水ニ混和溶解煎熬シ再製鹽ヲ製造シ政府指定ノ包裝ヲ施シ左ノ

割合ヲ以テ指定ノ期間内ニ之ヲ何支局ニ納付スヘシ但シ一包裝ニ滿タサル端數ハ政府ノ指揮ニ從フヘシ

一 臺灣並等原鹽二百斤ニ付

二 等 鹽 何斤

三 等 鹽 何斤

四 等 鹽 何斤

五 等 鹽 何斤

二 關東州並等原鹽百斤ニ付

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

- 二 等 鹽 何 斤
- 三 等 鹽 何 斤
- 四 等 鹽 何 斤
- 五 等 鹽 何 斤
- 三 青島原鹽百斤ニ付
- 二 等 鹽 何 斤
- 三 等 鹽 何 斤
- 四 等 鹽 何 斤
- 五 等 鹽 何 斤
- 第二條 政府ハ請負人ノ納付ニ係ル再製鹽ヲ内地鹽收納ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ秤量、鑑定シ納付鹽百斤ニ付左ノ割合ノ金額ヲ仕拂フモノトス但シ八十斤呷入二十斤抵俵入ノモノハ金何錢ヲ散鹽ハ金何錢ヲ低減ス
 - 二等鹽四十斤呷入 金何程
 - 三等鹽四十斤呷入 金何程
 - 四等鹽四十斤呷入 金何程
 - 五等鹽四十斤呷入 金何程
- 第三條 原鹽ハ政府指定ノ場所ニ於テ請負人立會ノ上秤量シ之ヲ請負人ニ引渡スヘシ
- 第四條 原鹽引渡期日及再製鹽納付期日ハ政府ニ於テ決定シ原鹽引渡期日三日前ニ之ヲ請負人ニ通知スヘシ
- 第五條 原鹽引渡後再製鹽納付迄ニ要スル一切ノ費用ハ總テ請負人ノ負擔トス
- 第六條 請負人指定期間内ニ正當ノ事由ナクシテ再製鹽ノ納付ヲ完了セサルトキハ遲延日數ニ應シ一日ニ付其ノ納付鹽ニ對シ政府ノ仕拂フヘキ再製費ノ千分ノ五ニ相當スル金額ヲ遲延賠償金トシテ指定ノ期間内ニ納付スヘシ
- 第七條 左ノ場合ニ於テ政府ハ本契約ヲ解除スルコトアルヘシ但シ政府ハ之ニ對シ何等ノ責ニ任セス
 - 一 請負人政府ノ指定セル期日後何日ヲ過キ正當ノ事由ナクシテ原鹽ヲ引取ラサルトキ
 - 二 前條遲延日數何日ニ及ヒ尙納付ヲ了セサルトキ
 - 三 政府ノ指示ニ違反シ其ノ他不都合ノ行爲アリト認メタルトキ
 - 四 政府ニ於テ必要アルトキ

前項第二號ニ依リ契約解除ノ場合ハ未納品ノ遲延日數ニ應シ三等四十斤吸入ノ割合ヲ以テ第六條ノ方法ニ依リ計算セル金額ヲ遲延賠償金トシテ指定ノ期間内ニ納付スヘシ前項第一號乃至第三號ニ依リ契約解除ノ場合ハ契約保證金ハ政府ノ所得トシ遲延賠償金ハ徵收セサルモノトス

第八條 請負人本契約ヲ解除セムトスルトキハ何日以前ニ其ノ旨政府ニ申出ヘシ但シ政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

第九條 原鹽引渡後再製鹽納付前ニ生シタル鹽ノ亡失ニ付テハ故意又ハ過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外請負人ニ於テ左記區分ニ從ヒ損害賠償ノ責ニ任スルモノトス

一 原鹽、原鹽ヲ溶解スル鹹水又ハ再製鹽ノ滅失ヲ政府ニ於テ確認セルトキハ當該原鹽ノ購買價格ニ相當スル金額
二 前號以外ノ場合ハ原鹽引渡當時ニ於ケル政府ノ特別元賣捌人ニ對スル當該原鹽賣渡價格

第十條 契約解除ノ場合ニ於テ現ニ請負人ノ所持ニ係ル未製品ハ左ノ區分ニ依リ處置スヘシ
一 原鹽ハ政府ノ指定ニ從ヒ請負人ノ費用ヲ以テ之ヲ返納スヘシ但シ濕潤又ハ汚損セル原鹽ニ對シテハ故意又ハ過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外請負人其ノ責ニ任シ指定ノ期間内ニ之カ損害ヲ賠償スヘシ

二 原鹽ヲ溶解セルモノハ溶解セル原鹽ノ數量ニ應シ其ノ購買價格ニ相當スル金額ヲ指定ノ期間内ニ納付シ鹹水ハ請負人ノ所得トス

前項ノ數量及金額ハ政府之ヲ決定ス請負人ハ之ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十一條 本契約ニ依リ請負人ノ政府ニ納付スヘキ金額ニシテ指定ノ期間内ニ納付ヲ了セサルモノアルトキハ政府ハ契約保證金ヲ以テ之ニ充テ尙不足ヲ生スルトキハ之ヲ追徵ス

第十二條 本契約ニ依ル鹽ノ製造貯藏運搬等ニ付テハ請負人ハ總テ所轄專賣官署ノ指揮監督ニ從フヘシ

第十三條 契約期間ハ大正何年何月何日より大正何年何月何日迄トス
右契約ノ成立ヲ證スル爲各自本證書壹通ヲ領置ス

大正 年 月 日
何專賣支局長 氏 名
請 負 人 氏 名

備 考
契約保證金ヲ徵セサルモノハ括弧内ノ文字ヲ削除スヘシ

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

主任
 物品會計官吏
 長
 庶務課長
 支局長

原鹽種類
 青島鹽(阿々鹽)
 原鹽交付數量
 原鹽交付數量
 原鹽交付月日
 年月日
 原鹽收入印
 原鹽領收印

原鹽交付數量
 原鹽交付月日

原鹽領收印
 原鹽收入印

原鹽種類

支局長
 庶務課長
 物品會計官吏

請負人住所氏名
 何府縣郡町村番地
 何

備考

一 本票ハ原鹽交付ノ異ル毎ニ一票下日票計及月計票ヲ作成スヘシ但
 一 月計ニハ果計ヲ附スルヘシ
 一 拂出命令ハ日計票ニ依リ便宜ノ場所ニ資本價格ヲ附記スヘシ
 一 附記スヘシ
 一 原鹽使用高ニ對シテ納付歩合及再製費ハ一件終了ノ際備考欄ニ
 一 添解セルカ爲原鹽ヲ返納セシメサルモノハ亡失欄ニ整理シ事由
 一 備考ニ附記スヘシ
 一 件終了ノ際ハ右側切斷線ノ場所ヲ切離シ別ニ編號スヘシ

納付月日	等級	八十斤吹	四十斤吹	二十斤吹	納付散	高計	原鹽殘高	原鹽納高	原鹽返納高	原鹽出高	原鹽拂出	原鹽再製ノ使用高	備考	備			
														數量	數量	數量	數量
月 日	一						斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	高納使用ナル原鹽對シテ再製費	
月 日	二						斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	高納使用ナル原鹽對シテ再製費	
月 日	三						斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	高納使用ナル原鹽對シテ再製費	
月 日	四						斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	高納使用ナル原鹽對シテ再製費	
月 日	五						斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	高納使用ナル原鹽對シテ再製費	
月 日	計						斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	高納使用ナル原鹽對シテ再製費	

納付期間
 自 月 日 至 月 日
 交付番號

第	號	織 水 混 和 再・製 鹽 納 付 票																																									
		原 鹽 類		原 年 及 受 領 日 號		大 正 年 月 日		第 月 日 號		製 造 氏 名		製 場 所		日 印		都 市		村 大字		番 地																							
納	年	月	日	大	正	年	月	日	第	月	日	製	費 領 收	再	製	費	再	製	費	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日				
包	裝	數	種	數	等	級	百	再	再	製	費	再	製	費	再	製	費	再	製	費	受	入	當	價	受	入	當	價	受	入	當	價	受	入	當	價	受	入	當	價			
計	課	調	秤	鑑	受	入	命	令	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日
局長	長	查	量	定	仕	命	令	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	大	正	年	月	日	

備考

一 本票ハ原鹽種類、原鹽交付年月日、番號、請負人氏名及製鹽場所ノ異ル毎ニ別紙トシ本書式ニ依リ更ニ日計票ヲ作製ス
 ヘシ但シ物品整理ニ要スル受入日計表ハ作表ヲ要セス

二 納付者多數ニシテ總代ヲ以テ納付スル場合ハ各納付票ニ、請負人氏名、製鹽場所及包裝數量、等級、百斤當再製費、再製費等ヲ記入スルニ止メ之ヲ一括シテ別ニ本書式ニ準シ合計票ヲ添附シ數量及再製費欄ニ各納付票ノ集計ヲ記入シ且納付年月日及納付代人氏名請負人氏名欄ニ、何某外人納付代人何某ト記入スヘシヲ記入シ之ニ依リ再製費領收ノ證印

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

其ノ他必要事項ノ整理ヲ爲スコトヲ得
 前項整理方ハ同一請負人ニシテ數製鹽場ノ分ヲ同時ニ納付スル場合ニモ之ヲ准用ス
 三 製鹽場所欄ノ記入ハ濱名、番地以外ヲ又請負人カ製鹽場一箇所ノミヲ有スルモノナルトキハ其ノ記入ヲ省略スルコトヲ得
 四 再製費計ハ其ノ仕拂額ヲ掲ケ餘白ニ錢位未滿切捨額ヲ附記スヘシ

第四號書式

何年度移輸入鹽再製委託可能高報告

支局 出張所名	月 別					計	備 考
	何 月	何 月	何 月	何 月	何 月		
直 轄	何 月	何 月	何 月	何 月	何 月	計	
何 所	何 月	何 月	何 月	何 月	何 月	計	
計	何 月	何 月	何 月	何 月	何 月	計	
何 所	何 月	何 月	何 月	何 月	何 月	計	
計	何 月	何 月	何 月	何 月	何 月	計	

何月分移輸入鹽再製委託契約高報告

支 出 張 所	局 名	等 級	包 裝 別	人 員	數	量		金 額	原 鹽 製 成 百 斤 當 量	何 支 局	備 考
						斤	厘				
直	轄										
何	所										
計											
果	計										

備考

- 一 本表ハ其ノ月ニ於ケル契約締結額ヲ掲上スヘシ
 - 二 本表ハ百斤當再製費、再製鹽納付歩合ノ異ル毎ニ區分掲上スヘシ
- 鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

何月分原鹽受拂及再製鹽納付高報告

支局	原	鹽種類	越	高	受	拂	現	在	再製		何	鹽	納	何	支局	備考
									何	何						
出張所名				斤	斤	斤	斤	斤	四十斤	再製費	四十斤	再製費	數量	再製費		
直轄				斤	斤	斤	斤	斤	斤	厘	斤	厘	斤	厘		
何所																
計																
果計																

備考

- 一 原鹽ハ當該專賣官署ニ於ケル數量ノミヲ掲上スヘシ
- 二 再製鹽納付數量ハ等級、包裝別ニ區分掲上シ再製費ハ納付數量ニ對スル費額ヲ掲上スヘシ
- 三 原鹽回送命令濟ニシテ受入未濟ニ係ル數量ハ備考欄ニ記載スヘシ
- 四 製鹽業者ヨリ原鹽ヲ返納セルモノアルトキハ拂欄ニ朱書スヘシ
- 五 原鹽ヲ亡失セルモノアルトキハ其ノ事由、數量ヲ備考ニ區分記載スヘシ

甲第四〇二七號ノ二部長通牒(大正七年十月十九日)

内地鹽生産不足ノ場合ニ於ケル需給調節ノ方法トシテ移輸入鹽ノ鹹水混和再製ヲ行フコトト相成之ニ關スル取扱手續別途被達候條左記各項御了知ノ上此ノ際々々實施方至急御取計相成度

左記

- 一 鹹水混和再製ハ内地鹽生産不足ヲ補給調節スル方策ナルヲ以テ再製ヲ委託セルカ爲普通製鹽ノ生産額ヲ減少セシムルカ如キコトナキ様努ムルコト
- 二 鹹水混和再製ヲ委託セルカ爲普通製鹽ノ賠償價格ニ累ヲ及ホスカ如キコトナキ様特ニ注意ノコト
- 三 普通鹹水ヨリ製造セル鹽ト再製鹽トノ區分ハ事實不可能ナルヲ以テ一定歩合ニ係ル數量ヲ再製鹽出來高トシ其ノ他ハ普通鹹水製鹽トシテ處理スルコト

鹹水混和再製鹽ノ納付歩合、委託製鹽業者ニ仕拂フヘキ再製費、再製鹽受入價格ハ左ノ通定メタリ

甲第四一七五號長官達(大正七年十月二十六日)

移輸入鹽鹹水混和再製委託ニ關スル取扱手續第四條ニ依ル原鹽百斤當再製鹽量委託再製費及再製鹽ノ受入價格ハ別表ニ依ルヘシ

再製鹽等級別	原鹽百斤當納付セシムヘキ再製鹽量	委託再製業者ニ支拂フヘキ再製費再製鹽百斤當	再製鹽受入價格
一 等鹽	八五斤	八五〇厘	二、七八〇厘
二 等鹽	九〇	七九〇	二、六二〇
三 等鹽	九五	七三〇	二、四六〇
四 等鹽	一〇二	六八〇	二、二九〇
五 等鹽	一〇九	六四〇	二、一五〇

- 一 本表ノ金額ハ四十斤吸入ニ對スル計算ナルカ故ニ散鹽納付ノモノハ本表ノ金額ヨリ金二十錢ヲ八十斤吸入トシテ納付ノモノハ本表ノ金額ヨリ金五錢ヲ低減スルモノトス
- 二 本表ノ再製受入價格ハ青島鹽ニ依ル場合ノ計算ナルカ故ニ臺灣竝等鹽關東州竝等鹽ニ依ル場合ハ更ニ右ノ金額ヲ加算スルモノトス

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

再製鹽等級別	臺灣並等鹽ニ依ル場合ノ加算金額	關東州並等鹽ニ依ル場合ノ加算金額	備考
一 等 鹽	二八〇 <small>厘</small>	二六〇 <small>厘</small>	
二 等 鹽	二六〇	二四〇	
三 等 鹽	二五〇	二三〇	
四 等 鹽	二三〇	二一〇	
五 等 鹽	二二〇	二〇〇	

再製鹽受入價格ハ原鹽區分ニ依リ同シカラサリシモ總テ同一トナシ左ノ通改正シ包裝區分ニ依リ價格ハ收納鹽ト同一計算トナシ大正七年十二月十七日ヨリ施行シタリ

無號長官達(抄録)(大正七年十二月十六日)

等級別	受入價格(再製鹽百斤當)
一 等 鹽	三、四三〇 <small>円</small>
二 等 鹽	三、三三〇
三 等 鹽	三、〇四〇
四 等 鹽	二、八三〇
五 等 鹽	二、六五〇

鹹水混和再製委託契約ヲ解除シタル場合未使用原鹽中請負人ノ故意又ハ過失ニ依リ濕潤又ハ汚損アリタル場合損害賠償金ノ算定ニ付左ノ指示ヲ爲セリ(大正七年十二月甲第四九五三號指示對廣島支局長)

- 一 原鹽ノ購買價格(回送諸費ヲ加算セス)ヨリ濕潤汚損鹽ノ價格ヲ控除シタル金額ヲ賠償セシムルコト
- 二 濕潤鹽ノ決定標準ニ付テハ本年五月三十日甲第二一七八號通牒ノ如ク水分一〇%ヲ限度トスルコト

三 濕潤汚損鹽ノ價格ハ大正五年一月二十四日達甲第一四一號臺關鹽移輸入及賣渡事務取扱細則第十四條ニ準シ算定スルコト
 鹹水混和委託再製ハ事創始ニ屬シ當業者ハ躊躇ノ狀ナキニアラサリシモ實行ノ結果豫想ノ成果ヲ收メ製鹽業者ニ在
 リテモ有利ノ方法ナルヲ認識シ希望者續出スルニ至リシヲ以テ取扱手續ヲ一般規程收納賣渡事務取扱手續中ニ編入シ
 委託區域ニ福岡支局管内ヲ追加シ大正八年四月ヨリ施行シタリ

甲第九八八號長官達(大正八年三月十七日)

鹽收納賣渡事務取扱手續

(第二章第一節參看)

大正七年十二月再製鹽ノ包裝ハ所定ノ等級記號ヲ附スル外青色ヲ以テ再ノ記號ヲ附スルコトト爲シタリシモ取扱上
 ノ煩雜ヲ避クル爲同八年十二月ニ至リ等級記號ト同一ニ黑色ニ改メタリ

大正八年八月收納賣渡事務取扱手續中改正ヲ加ヘ鹹水混和再製ノ委託區域ニ仙臺支局管内ヲ追加セリ

再製鹽納付歩合ハ委託再製實行後ノ成績及原鹽成分等ニ鑑ミ之ヲ引下ケ合セテ受入價格ヲ左ノ通改正シ大正八年五

月二十二日ヨリ施行シタリ

甲第二三四二號長官達(抄録)(大正八年五月二日)

一	二	三	四	五
等	等	等	等	等
納付歩合	納付歩合	納付歩合	納付歩合	納付歩合
八〇斤	八五	九〇	九七	一〇四
受入價格(再製鹽百斤當)	受入價格(再製鹽百斤當)	受入價格(再製鹽百斤當)	受入價格(再製鹽百斤當)	受入價格(再製鹽百斤當)
三、三三〇	三、一三〇	二、九三〇	二、七二〇	二、五五〇

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

七四三

物價賃銀ノ昂上ニ應シ再製費及受入價格ヲ引上ケ大正八年六月二十八日ヨリ施行シタリ

無號長官達(抄録)(大正八年六月二十七日)

一 等 鹽	一、〇八〇	三、五六〇
二 等 鹽	一、〇一〇	三、三四〇
三 等 鹽	九四〇	三、一四〇
四 等 鹽	八九〇	二、九三〇
五 等 鹽	八四〇	二、七五〇
委託鹽製造者ニ仕拂フヘ キ再製費(再製鹽百斤當)		受入價格(再製鹽百斤當)

物價賃銀ノ騰貴ニ依リ再製費及受入價格ヲ改定シ大正八年九月九日ヨリ施行シタリ

甲第三九六三號長官達(抄録)(大正八年九月八日)

一 等 鹽	一、二九〇	三、七八〇
二 等 鹽	一、一九〇	三、五三〇
三 等 鹽	一、一一〇	三、三二〇
四 等 鹽	一〇四〇	三、〇九〇
五 等 鹽	九八〇	二、八九〇
委託鹽製造者ニ仕拂フヘ キ再製費(再製鹽百斤當)		受入價格(再製鹽百斤當)

原鹽價格引上ノ爲受入價格ヲ改正シ大正八年十月一日ヨリ遡及施行セリ

甲第四三三八號長官達(抄録)(大正八年十月七日)

一 等 鹽	受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)	四、一二〇 ^円
二 等 鹽		三、八五〇
三 等 鹽		三、六二〇
四 等 鹽		三、三七〇
五 等 鹽		三、一五〇

再製量ノ増加ニ伴ヒ原料鹽ノ品質次第ニ下降シ品質不同トナルニ至リシ爲納付歩合ハ原鹽ノ成分ニ依リテ區別スル
 コトニ改正シ同時ニ物價賃銀ノ昂騰ニ因リ再製費ヲ引上ケ受入價格ヲ改定シ大正九年一月ヨリ施行セリ

號外長官達(大正八年十二月二十七日)

一 等 鹽	二 等 鹽	三 等 鹽	四 等 鹽	五 等 鹽	原 鹽 百 斤 當 納 付 セ シ ム ヘ キ 再 製 鹽 量		再 製 費 (再 製 鹽 百 斤 當)	受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)
					原 鹽 百 斤 當 納 付 セ シ ム 二 等 相 當 以 上 ノ 原 鹽 ヲ 使 用 シ タ ル モ ノ	三 等 四 等		
八五斤	九〇	九五	一〇二	一〇九	八〇斤	七五斤	一、四八〇 ^円	四、三六〇 ^円
					八五	八〇	一、四二〇	四、一三〇
					九〇	八五	一、三八〇	三、九四〇
					九七	九二	一、三二〇	三、七〇〇
					一〇四	九九	一、二七〇	三、四九〇

原鹽ノ二等三等及四等相當トハ何レモ内地收納鹽等級ノ例ニ準スルモノトス
 本表ノ金額ハ四十斤呷入ノ鹽ニ對スルモノナリ依テ散鹽ノ儘納付ノモノ八十斤呷入又ハ五十斤呷入若ハ二十斤孤俵入トシテ
 納付ノモノニ對シテハ包裝價格ヲ收納鹽ト同一ニ計算シ本表ノ金額ヲ低減シテ適用スヘシ

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

七四五

當時石炭包裝ノ價格昂上シ混和再製ニ於テ不引合ノ聲絶エス官營再製工場ニ於ケル石炭包裝ノ買付ハ直ニ民間ニ於ケル買入ニ影響アリトナシ官營中止ヲ陳情スルモノアルニ至レド

支部局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正九年四月)

一四 鹹水混和再製ニ關スル

委託製鹽者ヨリ納付スル鹽ハ鹽田製鹽ト再製鹽ト混淆セルヲ以テ正確ニ之ヲ區分シ難カルヘキモ其ノ割合ノ當否ハ彼我ノ利害ニ影響スルコト尠カラサルニヨリ製鹽實況ニ鑑ミ適當ニ之ヲ調査決定スルコトニ十分注意ヲ拂ハルヘク又再製鹽ノ納期指定ノ適否ハ當業者ノ利害ニ關スルトコロ大ナルヲ以テ製鹽者ノ製鹽能力、鹹水現在高其ノ時期等ヲ勘案シ適實ノ期日ヲ指定スルコトニ注意セラルヘシ且本業ハ創始ノ事業ナルヲ以テ其ノ製造技術ノ巧拙ハ鹽業經濟上影響尠カラサルカ故ニ能ク之ヲ指導シ好成績ヲ擧クルコトニ注意セラルヘシ

原鹽價格ノ引上ニ因リ受入價格ヲ改正シ大正九年五月二十九日ヨリ施行シタリ

甲第二四九五號長官達(抄録)(大正九年五月二十四日)

		受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)
一	等 鹽	四、六六〇
二	等 鹽	四、四一〇
三	等 鹽	四、二一〇
四	等 鹽	三、九五〇
五	等 鹽	三、七二〇

大正九年九月收納賣渡事務取扱手續ヲ改正シ再製鹽ノ「再」字記號ヲ廢シ等級記號ノ形狀ヲ區別スルコトトシタリ

同年十月收納賣渡事務取扱手續中改正ヲ加ヘ鹹水混和再製ノ委託區域ニ淺草支局管内ヲ追加シタリ

原鹽購買價格低下ニ伴ヒ受入價格ヲ改メ大正九年十月二十八日ヨリ施行シタリ

甲第五〇二二號長官達(抄録)(大正九年十月二十八日)

一 等 鹽	二 等 鹽	三 等 鹽	四 等 鹽	五 等 鹽
受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)				
三、七八〇	三、五八〇	三、四二〇	三、二一〇	三、〇四〇

製鹽材料ノ低落ニ因リ再製費及受入價格ノ引下ヲ爲シ大正十年一月一日受入ノ分ヨリ施行セリ尙從來ハ四十斤呷入ヲ基本トナシタルモ五十斤呷入ニ改定シタリ

甲第五八三二號長官達(大正九年十二月二十八日)

鹽收納賣渡事務取扱手續第十九條ニ依ル移輸入鹽鹹水混和再製鹽ノ納付歩合委託鹽製造者ニ支拂フヘキ再製費及再製鹽ノ受入價格ハ大正十年一月一日以降受入ノ分ヨリ別表ニ依ルヘシ

一 等 鹽	二 等 鹽	三 等 鹽	四 等 鹽	五 等 鹽	原 鹽 百 斤 當 納 付 セ シ ム ヘ キ 再 製 鹽 量	再 製 費 (再 製 鹽 百 斤 當)	受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)														
					二 等 相 當 以 上 ノ 原 鹽 ヲ 使 用 シ タ ル モ ノ	三 等	四 等	再 製 費 (再 製 鹽 百 斤 當)	受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)												
八五斤	九〇	九五	一〇二	一〇九	八〇斤	八五	七五斤	八〇	八五	九二	九九	一、一三〇	一、一四〇	一、一四〇	一、〇九〇	一、〇四〇	三、三四〇	三、一八〇	三、〇二〇	二、八三〇	二、六七〇

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

原鹽ノ二等、三等及四等相當トハ何レモ内地收納鹽等級ノ例ニ準スルモノトス
 指定引渡ニ準シ取扱フ再製鹽ノ委託再製費ハ收納鹽ノ例ニ準シ低減スルモノトス
 本表ノ金額ハ五十斤吸入ノ鹽ニ對スルモノナリ依テ散鹽ノ儘納付ノモノ、八十斤吸入又ハ四十斤吸入トシテ納付ノモノニ對シテハ
 包裝價格ヲ收納鹽ト同一ニ計算シ本表ノ金額ヲ増減シテ適用スヘシ

再製費ハ受託製鹽者ノ利益ヲ相當考慮シ決定セルモノナルモ納付歩合ノ關係等ニ於テ動モスレハ再製請負ハ必スシ
 モ利益ニアラス且又手數煩鎖ナリトシ受託ヲ回避セムトスル氣配アリテ一時原鹽ノ消化ニ影響スルアリシモ大勢ニ及
 ホスニ至ラザリキ

大正十年四月收納賣渡事務取扱手續中鹹水混和再製ノ契約書其ノ他ニ付改正ヲ加ヘタリ
 原料鹽ノ購買價格並回送費等低減セシニヨリ受入價格ヲ左ノ通變更シ大正十年四月三十日ヨリ施行ス

甲第一五五二號長官達(抄録)(大正十年四月二十九日)

		受 入 價 格 (再 製 鹽 百 斤 當)
一	等 鹽	一、八九五〇
二	等 鹽	一、八一〇〇
三	等 鹽	一、六七〇〇
四	等 鹽	一、五一〇〇
五	等 鹽	一、三六〇〇

製鹽用諸材料低落セシニヨリ再製費及受入價格ヲ左ノ通改正シ大正十年六月九日ヨリ施行シタリ

祕第二二二三號長官達(抄録)(大正十年六月八日)

	再製費(再製鹽百斤當)	受人價格(再製鹽百斤當)
一 等 鹽	一〇四〇	二、七六〇
二 等 鹽	一、〇〇〇	二、六二〇
三 等 鹽	九六〇	二、四九〇
四 等 鹽	九二〇	二、三四〇
五 等 鹽	八七〇	二、一九〇

委託再製ハ漸増シ大正九年度ニハ四千八百萬斤ニ上リタリ後内地鹽ハ半年作柄ヲ示シ殖民地ニ於ケル再製鹽ノ輸入漸加シ一面財界恐慌來ト共ニ事業沈衰シ鹽ノ消費ハ減退シタルニヨリ大正十年以降ニハ内地ニ於ケル再製ヲ減縮スルニ至リシヲ以テ内地鹽田製鹽業者ハ或ハ政府直營ノ再製ヲ中止シ之ヲ民營ニ移シテ委託再製ヲ増加シ不振ノ内地鹽業ヲ救護セムコトヲ訴ヘ或ハ又殖民地再製鹽ノ移入ヲ控制シテ内地ニ於ケル再製品ノ生産ヲ増加シ以テ鹽業經濟ノ振興ニ資セムコトヲ要望スル者アルニ至レリ

然レトモ當時臨時財政經濟調査會ニ於テ之ニ關シ審議中ニ在リシヲ以テ其ノ決議ヲ參考シ内地及殖民地ノ鹽業狀態ニ鑑ミ根本方針ヲ決定スヘキ旨ヲ告ケ差向需要關係ノ成行ニ應ジ取扱フコトトナシタリ

鹹水混和再製鹽受入價格ハ關東州竝等原鹽、青島竝等原鹽各五割宛使用ノ豫定ヲ以テ算定セルニ動モスレハ右兩鹽以外ノ高價ナル原鹽ヲ使用セル爲生産費力豫定ニ比シ超過スルモノアリタルニヨリ原料鹽使用上注意ヲ加ヘタリ(大正十二年四月甲第一一七六號通牒)

物價勞銀等ノ低落ニ依リ再製費及受人價格ヲ改正シ大正十二年五月十五日受入ノ分ヨリ適用セリ

甲第一二四〇號長官達抄錄(大正十二年四月二十五日)

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

一 等 鹽	九二〇	二、六四〇
二 等 鹽	八九〇	二、五一〇
三 等 鹽	八六〇	二、三九〇
四 等 鹽	八三〇	二、二五〇
五 等 鹽	八〇〇	二、一一〇

委託鹽製造者ニ仕拂フヘキ再製費(再製鹽百斤當)
受入價格(再製鹽百斤當)

各年次鹹水混和委託再製ニ依ル製造高竝原料使用高左ノ如シ

大正	製 造 高	原 料 使 用 高
七 年 度	一〇、七二八、二一九斤	一〇、八〇〇、〇七五斤
八 年 度	二二、六六〇、七〇〇	二四、一三五、七一九
九 年 度	四八、六六三、八二四	五三、二〇八、一四三
十 年 度	三三、〇八六、九四五	三六、四一五、〇一一
十 一 年 度	二二、五八一、三〇二	二五、三七三、七二三

二 委託加工

鹽ノ需要激増ニ對シテハ移輸入鹽ヲ以テ補充セシモ移輸入鹽ハ色相ト結晶トニ於テ直ニ内地鹽ニ代用スル能ハサルヨリ適當ニ加工シ之カ供給ヲ計ルコトトシタルハ前記ノ如ク尙一面ニハ移輸入取扱人大日本鹽業株式會社ヲシテ其ノ輸移入鹽中指定數量ニ對シ内地ニ於テ加工セシメタリシカ大正八年四月移輸入鹽ノ特別賣渡ヲ廢シ一般ニ元賣捌人ニ賣渡スコトニ改メタルト共ニ移輸入鹽ノ加工ハ政府ノ加工費支辨ヲ以テ民間ニ委託スルコトト爲シ主トシテ北海漁業

用充當ノ目的ヲ以テ移輸入鹽ノ粉碎又ハ粉碎洗滌ヲ施スコトニ決シ大日本鹽業株式會社ニ對シ之カ加工ヲ委託シタリ

移輸入鹽加工命令書

第一條 大日本鹽業株式會社ハ本命令ニヨリ移輸入鹽ノ加工ヲ取扱フヘシ

前項ノ加工ニ關シテハ政府ハ一定ノ種類、數量、時期、加工ノ方法ヲ定メテ大日本鹽業株式會社ニ命令スヘシ

第二條 政府ハ移輸入鹽ノ加工ヲ必要ト認メタルトキハ其ノ原料鹽ヲ山口縣彥島ニ於テ實量計量ノ上大日本鹽業株式會社ニ引渡スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ大日本鹽業株式會社ハ直チニ原料鹽ノ引渡シヲ受ケ政府ノ指圖ニ從ヒ加工ノ操作ヲ施スヘシ

第三條 大日本鹽業株式會社ハ移輸入鹽ノ加工ヲ終了シタルトキハ全部之ヲ彥島ニ於テ福岡專賣支局門司出張所ニ引渡スヘシ、其ノ受入方ハ實量計量ノ方法ニ依ル

前項ノ加工鹽ニシテ水分過多、色澤、其ノ他加工不十分ナリト認メタルトキハ政府ハ大日本鹽業株式會社ニ對シ更ニ相當ノ處置ヲ命スルコトアルヘシ

第四條 前條ニヨリ加工鹽ノ引渡シヲ了シタルトキハ政府ハ加工費トシテ左記ノ金額ヲ支拂フモノトス、但シ包裝ヲ施シタルモノニ付テハ百斤ニ付金二十五錢ヲ加フ

一 粉碎鹽 百斤ニ付 金十三錢一厘

二 粉碎洗滌鹽 百斤ニ付 金二十一錢四厘

三 洗滌鹽 百斤ニ付 金十四錢五厘

第五條 大日本鹽業株式會社カ政府ノ指定シタル期日迄ニ鹽ノ取引ヲナサス又ハ鹽ノ引渡ヲ完了セルサルトキハ其ノ指定期日ノ翌日ヨリ起算シ遲延日數ニ應シ一日ニ付其ノ引渡鹽ニ對シ政府ノ支拂フヘキ加工費ノ千分ノ五ニ相當スル金額ヲ過怠金トシテ政府ニ納付スヘシ

第六條 大日本鹽業株式會社ハ原料鹽引取後加工鹽ヲ政府ニ引渡ス迄ノ間ニ於テ鹽ノ亡失損傷ヲ生シタルトキハ會社又ハ其ノ使用人ノ故意又ハ過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外一切其ノ責ニ任シ左記ノ辨償金ノ政府ノ指定期日迄ニ納付スヘシ

一 亡失ノ場合

イ 政府ニ於テ其ノ鹽ノ減失ノ事實ヲ確認シタル場合ハ其ノ鹽ノ購買價格ニ相當スル金額

ロ 前號以外ノ亡失ノ場合ハ其ノ鹽ノ引渡當時ニ於ケル政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

二 損傷ノ場合

其ノ當時ノ購買價格ヨリ政府ニ於テ適當ト認メタル損傷鹽ノ殘存價格ヲ控除シタル金額

第七條 大日本鹽業株式會社ハ原鹽ノ數量ニ對スル鹽ノ缺減カ左記歩合ヲ超過シタルトキハ正當ノ事由アリト認メタル場合ノ外其ノ超過シタル部分ニ對スル原鹽ノ購買價格ニ相當スル金額ヲ辨償スヘシ

一 粉 碎 鹽 百分ノ五

二 粉碎洗滌鹽 百分ノ二十二

三 洗 滌 鹽 百分ノ十七

第八條 政府ハ大日本鹽業株式會社カ本命令ニ基キテ爲シタル指圖ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリト認メタルトキハ直ニ本命令ノ全部又ハ一部ヲ解除スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ政府ハ之ニ對シ何等ノ責ニ任セス

第九條 大日本鹽業株式會社ハ本命令ニ依ル義務履行ノ保證金トシテ現金又ハ國債證券地方債證券若ハ政府ノ指定シタル株式會社ノ債券ヲ以テ金八千七百圓ヲ福岡專賣支局門司出張所ニ提出スヘシ

前項有價證券ノ價格ハ政府ノ定ムル所ニ依ル

第十條 大日本鹽業株式會社カ本命令ノ履行ヲ終了シタルトキハ第九條ノ保證金ハ之ヲ還付ス但第八條ニヨリ本命令ヲ解除シタル場合ニ於テハ政府ノ所得トス

第十一條 大日本鹽業株式會社ハ工場内ニ作業狀況ニ關スル帳簿ヲ設備シ左記事項ヲ記載シ検査官吏ノ検査ヲ受クヘシ

一 原料鹽ノ受拂年月日、種類別數量若シ收容倉庫ヲ異ニスルトキハ倉庫毎ニ之カ區別ヲナスヘシ

二 加工物件ノ拂出年月日、種類別數量及現在數量

三 原鹽ニ對スル加工鹽ノ缺減數量並歩合

四 日々ノ作業經過ヲ明ニスル事項

第十二條 本命令事項ニ關シテハ總テ專賣局官吏ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第十三條 本命令ノ有効期間ハ大正八年四月四日ヨリ大正九年三月三十一日迄トス

右命令ニ依ル加工鹽取扱方ヲ定メ福岡支局ヘ通牒ス

甲第一六一三號部長通牒(抄録)大正八年四月四日

一 加工スヘキ移輸入原鹽門司ニ到着シタルトキハ鹽ノ種類、數量等ヲ彦島駐在官吏ニ通知シ彦島ニ於テ實量計量ノ上引渡ヲ爲

スコト、彦島以外ノ政府ノ倉庫ニ受入タル原鹽ヲ引渡ス場合ニ於テモ亦同シ

二 移輸入原鹽ヲ加工ノ爲メ大日本鹽業株式會社ニ其ノ原料鹽ノ引渡ヲナス場合ニ在リテハ會計官吏ハ之レカ保管ニ關スル證書ヲ徴シタル上引渡ヲ爲シ加工鹽ニ對スル全部ノ納付ヲ了シタル後之ヲ返付スルコト

三 政府ノ指示ニ從ヒ加工ヲ完了シタルトキハ全部彦島ニ於テ引渡ヲ爲サシメ實量計量ノ方法ニ依リ受入ノ手續ヲ爲スコト但シ包裝ヲ施シタル鹽ニ付テハ大正三年四月四日長官達甲第一三五五號鹽收納賣渡事務取扱手續第十三條ヲ準用スルコトヲ得

四 大正七年九月二十七日甲第三七二九號ニ依リ受入未濟ノ鹽ト別紙加工命令ニ因ル鹽トノ區分ヲ明確ニセシメ不取締ナカラシムルコト

五 原鹽竝加工鹽ニ對スル受拂ヲ明確ナラシムルハ勿論之カ貯藏鹽ハ其ノ收容倉庫ニ適當ナル封鎖ヲ施サシメ拂出ノ都度必要數量ヲ拂出サシムルコト

六 加工期間中ハ專賣官吏ヲシテ常ニ加工作業竝加工鹽ノ包裝方ニ付之カ検査監督ヲ十分ニ爲サシムヘキハ勿論工場内ノ作業狀況ニ關スル帳簿ヲ提出セシメ原鹽ニ對スル缺減等ノ適否ヲ調査シ詳細手續ヲ記載セシムル等不取締ナキ様注意スルコト

七 貯藏倉庫工場内ニ於ケル製造設備名稱箇數竝其ノ配置圖面ハ取扱人ヲシテ豫メ專賣官署ニ申告セシムルコト之ヲ變更シタルトキ亦同シ

八 移輸入原鹽ヲ加工ノ爲委託シタル場合ノ整理方ニ付テハ當分ノ内大正三年四月四日長官達甲第一三五五號鹽收納賣渡事務取扱手續中移輸入鹽鹹水混和再製鹽ノ整理方ニ準シ取扱フコト但シ原鹽ノ拂出方ニ付テハ加工鹽ノ受入ノ際整理スヘキコト

十 加工鹽受入價格ハ安南粉碎鹽金二圓五十七錢其ノ他ハ追テ之ヲ定ム

大正八年五月大日本鹽業株式會社ニ對シ更ニ横濱市千若町受渡ヲ以テ移輸入鹽加工命令ヲ爲セリ其ノ加工費ハ左ノ如シ

粉 碎 鹽 百斤ニ付 金三十三錢二厘

粉 碎 洗 滌 鹽 〃 金三十四錢八厘

包裝ヲ施シタルモノハ百斤ニ付金二十六錢ヲ加フ

大正八年十月加工命令書中左ノ通改正シ加工費ヲ改メ向後受入ノ分ハ八十斤入込五十斤入込及散鹽ニ一定シ百斤入

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

叭ハ使用セシメサルコトトナセリ

無號長官達(抄録)(大正八年十月十六日)

一 第四條ヲ左ノ如ク改ム(括弧内ハ撰擇加工命令ノ分ヲ示ス)

前條ニ依リ加工鹽ノ引渡ヲ了シタルトキハ政府ハ加工費トシテ鹽百斤ニ付左記ノ金額ヲ支拂フヘシ

一 粉碎鹽 散鹽 金拾錢貳厘(金貳拾九錢九厘)
包裝鹽 金拾四錢九厘(金參拾五錢貳厘)

二 粉碎洗滌鹽 散鹽 金拾八錢貳厘(金參拾壹錢五厘)
包裝鹽 金貳拾參錢參厘(金參拾六錢八厘)

三 洗滌鹽 散鹽 金拾壹錢九厘
包裝鹽 金拾六錢參厘

前項包裝鹽ニシテ百斤入叭ニ在リテハ金參拾四錢(金參拾七錢)ヲ八十斤入叭ニ在リテハ金四拾參錢(金四拾五錢)ヲ五十斤入叭ニ在リテハ金四拾七錢(金四拾八錢)ヲ包裝費トシテ支拂フヘシ

大正九年度加工命令ハ命令期間ヲ同年九月三十日迄トシ加工費ハ左ノ通改定ス(大正九年四月甲第一九七〇號ノ二達)

加工費(百斤ニ付)

	彦島加工ノ分	横濱加工ノ分
粉 碎 鹽	金三十錢六厘	金三十四錢
粉 碎 洗 滌 鹽	金四十二錢七厘	金四十五錢四厘
加算スヘキ包裝費(百斤ニ付)		
八十斤 叭 入	金四十三錢	金五十七錢

右命令ニ對スル加工鹽ノ取扱ハ大正八年四月甲第一六一三號通牒ニ準スルコトトシ包裝種別ハ全部八十斤呔ト爲セリ(大正九年四月甲第一九七〇號通牒)

北海漁業用ニ充當スル爲第二期分移輸入鹽ニ對シ加工スルコトトシ大正十年二月十七日以降年度末迄ノ期間ヲ以テ加工命令シ加工費ヲ左ノ通定ム(大正十年二月甲第五〇五號達)

加工費(百斤ニ付)

	彦島加工ノ分	横濱加工ノ分
粉 碎 鹽	金三十一錢	金三十三錢三厘
粉 碎 洗 滌 鹽	金四十三錢	金四十五錢三厘
加算スヘキ包裝(百斤ニ付)		
八十斤呔入	金四十錢	金四十六錢
五十斤呔入	金五十二錢	金五十三錢

右命令ニ對スル加工鹽取扱方ヲ通牒ス

甲第五〇五號部長通牒(抄録)(大正十年二月十七日)

- 一 加工鹽ノ處理ニ關シテハ大正八年四月四日甲第一六一三號ニ準シ取扱フヘキコト
- 二 包裝種別ハ當分ノ内全部八十斤呔トナスコト
- 三 加工鹽ハ全部粉碎洗滌鹽トシ別途送付ノ標準鹽ニ依リ之カ受入ヲナス事
- 四 加工鹽ノ缺減歩合ハ從來ノ通り据置ト爲シタルモ本期分ハ特ニ色相ヲ改良セシメ品質ヲ上進セシムルコトト爲シタルヲ以テ缺減歩合ノ増加スルコトナキヲ保シ難キニ付相當調査ノ上豫メ報告セラレタキコト
- 五 加工鹽ノ受入價格ハ左記ニ據ルコト

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

百斤當包裝鹽

關東州 竝等鹽	粉	碎	鹽	粉	碎	洗	滌	鹽
	厘							
	二、三、一〇厘							

七五六

大正十年度ニハ加工命令ヲ左ノ通更新ス

移輸入鹽加工命令書

- 第一條 本命令ニ於テ便宜ノタメ政府ヲ甲ト稱シ大日本鹽業株式會社ヲ乙ト稱ス
- 第二條 乙ハ本命令ニ依リ移輸入鹽ノ加工ヲ施スヘシ
前項加工鹽ノ種類等級加工時期加工方法ハ甲ノ定ル所ニ依ル
- 第三條 甲ハ移輸入鹽ノ加工ヲ必要ト認メタルトキハ其ノ原料鹽ヲ山口縣彥島ニ於テ實量計量ノ上乙ニ引渡スヘシ
前項ノ場合ニ於テ乙ハ直チニ原料鹽ノ引渡ヲ受ケ甲ノ指圖ニ從ヒ鹽ノ加工ヲ施スヘシ
- 第四條 乙ハ移輸入鹽ノ加工ヲ終了シタル時ハ全部之ヲ彥島ニ於テ福岡專賣支局門司出張所ニ引渡スヘシ、其ノ受入方ハ實量計量ノ方法ニ依ル
- 前項加工鹽ニシテ甲ノ定メタル標準鹽ニ比シ、水分過多、色澤其ノ他加工不充分ナリト認メタル時ハ甲ハ乙ニ對シ、更ニ相當ノ處置ヲ命スルコトアルヘシ
- 第五條 前條ニ依リ加工鹽ノ引渡シヲ了シタルトキハ甲ハ加工費トシテ包裝ヲ施シタル鹽百斤ニ付左記ノ金額ヲ仕拂フヘシ
- 一 粉 碎 鹽 金參拾壹錢
- 二 粉碎洗滌鹽 金四拾參錢
- 前項包裝ヲ施シタル鹽ニシテ八十斤吸入ノモノニ付テハ金參拾六錢ヲ、五十斤吸入ノモノニ付テハ金五十一錢ヲ百斤當包裝費

トシテ加算仕拂フヘシ

第六條 乙カ甲ノ指定シタル期日迄ニ鹽ノ引取ヲナサス又ハ鹽ノ引渡ヲ完了セサルトキハ其ノ指定期日ヨリ起算シ、遲延日數ニ應

シ一日ニ付其ノ鹽ニ對シ甲ノ仕拂フヘキ費額ノ千分ノ五ニ相當スル金額ヲ過怠金トシテ甲ニ納付スヘシ

第七條 乙ハ原料鹽引取後加工鹽ヲ甲ニ引渡ス迄ノ間ニ於テ鹽ノ亡失、損傷ヲ生シタルトキハ會社又ハ其ノ使用人ノ故意又ハ過

失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外一切其ノ責ニ任シ左記ノ辨償金ヲ指定期日迄ニ甲ニ納付スヘシ

一 亡失ノ場合

イ 甲ニ於テ其ノ鹽ノ減失事實ヲ確認シタル場合ハ其ノ鹽ノ購買價額ニ相當スル金額

ロ 前號以外ノ亡失ノ場合ハ其ノ鹽ノ引渡當時ニ於ケル甲ノ元賣捌人ニ賣渡價額

二 損傷ノ場合

其ノ當時ノ購買價額ヨリ甲ニ於テ適當ト認メタル損傷鹽ノ殘存價額ヲ控除シタル金額

第八條 乙ハ原鹽ノ數量ニ對スル鹽ノ缺減カ左記歩合ヲ超過シタルトキハ甲ニ於テ正當ノ事由アリト認メタル場合ノ外其ノ超過

シタル部分ニ對スル原鹽ノ購買價額ニ相當スル金額ヲ辨償スヘシ

一 粉 碎 鹽 百分ノ五

二 粉碎洗滌鹽 百分ノ二十二

第九條 甲ハ乙カ本命令ニ基キナシタル指圖ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリト認メタルトキハ直チニ本命令ノ全部、又ハ一部ヲ

解除スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ甲ハ之ニ對シ何等ノ責ニ任セス

第十條 乙ハ本命令ニ依ル義務履行ノ保證金トシテ現金又ハ國債證券ヲ以テ金四千六百圓ヲ福岡專賣支局門司出張所ニ提供スヘ

シ 第十一條 乙カ本命令ノ履行ヲ終了シタルトキハ第十條ノ保證金ハ還付ス但シ第九條ニ依リ本命令ヲ解除シタル場合ニ於テハ甲

ノ所得トス

第十二條 乙ハ工場内ニ作業狀況ニ關スル帳簿ヲ設備シ左記事項ヲ記載シ検査官吏ノ検査ヲ受クヘシ

一 原料鹽ノ受拂年月日、種類別數量、收容倉庫ヲ異ニスルトキハ倉庫毎ニ之カ區別ヲナスヘシ

二 加工物件ノ拂出月日、種類別數量及現在數量

三 原鹽ニ對スル加工鹽ノ缺減數量並歩合

四 日日ノ作業經過ヲ明ニスル事項

鹽專賣 鹽ノ再製加工 委託

第十三條 本命令事項ニ關シテハ總テ專賣局官吏ノ指揮監督ヲ受クヘシ
 第十四條 本命令ノ有效期間ハ大正十年四月三十日ヨリ同年十月三十日迄トス

右命令ニ對スル加工鹽ノ取扱ハ本年二月甲第五〇五號通牒ニ準シ加工數量ハ現在保管セルモノニ限ルコトトナセリ
 (大正十年四月甲第一五五八號通牒)

横濱加工ニ付テモ同一命令ヲ爲ス其ノ加工費ハ左ノ如シ(大正十年四月甲第一五五八號ノ三達)

加工費
 粉碎鹽 百斤ニ付 金三十三錢
 粉碎洗滌鹽 同 金四十四錢
 加算スヘキ包裝費
 八十斤呷入 百斤ニ付 金四十二錢
 五十斤呷入 同 金五十二錢

加工命令期間ヲ一箇月延長シ大正十年十月三十日迄トシ爾後加工依託ヲ廢止シタリ
 委託加工ニ依ル製造高竝其ノ原料使用高左ノ如シ

大正	製	原	
八	造	料	
年	高	使	
度	高	用	
九	年	高	
年	度	斤	
十	年		
度	度		
	一五三、四八七、二二〇	一六二、三六八、〇七〇	安南鹽、埃及鹽、關東州鹽、青島鹽 等ヲ粉碎又ハ粉碎洗滌ス
	五四、三〇四、一七〇	五七、六七四、九〇〇	安南鹽及埃及鹽ヲ粉碎ス
	一七、六八四、九二〇	二二、六〇〇、五〇〇	關東州鹽ヲ粉碎洗滌ス